

取扱上のご注意

廃棄方法

- 本品を廃棄する場合は、各自治体の廃棄区分に従ってください。

保管方法

- 水濡れに注意し、直射日光および高温多湿を避けて、室内で保管してください。

洗濯方法

- 洗濯の際は、必ずアルミステータを取り出してください。
- 洗濯機を使用する場合は、ネットに入れ、40°C以下の水で中性洗剤を使用してください。40°C以上では素材が早く劣化するおそれがあります。
- 乾燥機の使用は避けてください。
- 漂白剤は使用しないでください。漂白剤の使用により、素材の劣化を早めたり、色落ちするおそれがあります。

品質表示

- ナイロン、ポリエステル、スチレンブタジエンゴム、アルミ、ポリウレタン

種類と規格

種類	商品コードNo.	規格		1箱入数
		適応範囲(腕装着部周囲)	長さ	
—	20821	14~34cm	33cm	1コ

エルボーフィックス・忍 Elbow Fix-SHINOBI

抜管・抜針予防用シーネ
Self-Extubation Preventing Splint

取扱説明書

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、商品の特性を十分理解してからご使用ください。
- 常に、この取扱説明書はお手元に置き、必要に応じてお読みください。

はじめに

《エルボーフィックス・忍》はチューブ・ラインを自分で抜かないように肘の動きを制限するために設計されているものです。装着者の動作を完全に抑制するものではありません。安全にお使いいただくため、用途以外の使用はせず、この取扱説明書に従い、使用期限を守り、正しくご使用ください。

使用上のご注意

法令や施設基準・ガイドラインなどに従って、適切にご使用ください。

面ファスナー部分が外れる、またはアルミステーが飛び出すと自傷または他害の危険がありますので、次の点に十分ご注意ください。

*[使用上のご注意]では、その危険度に応じて区分をしております。

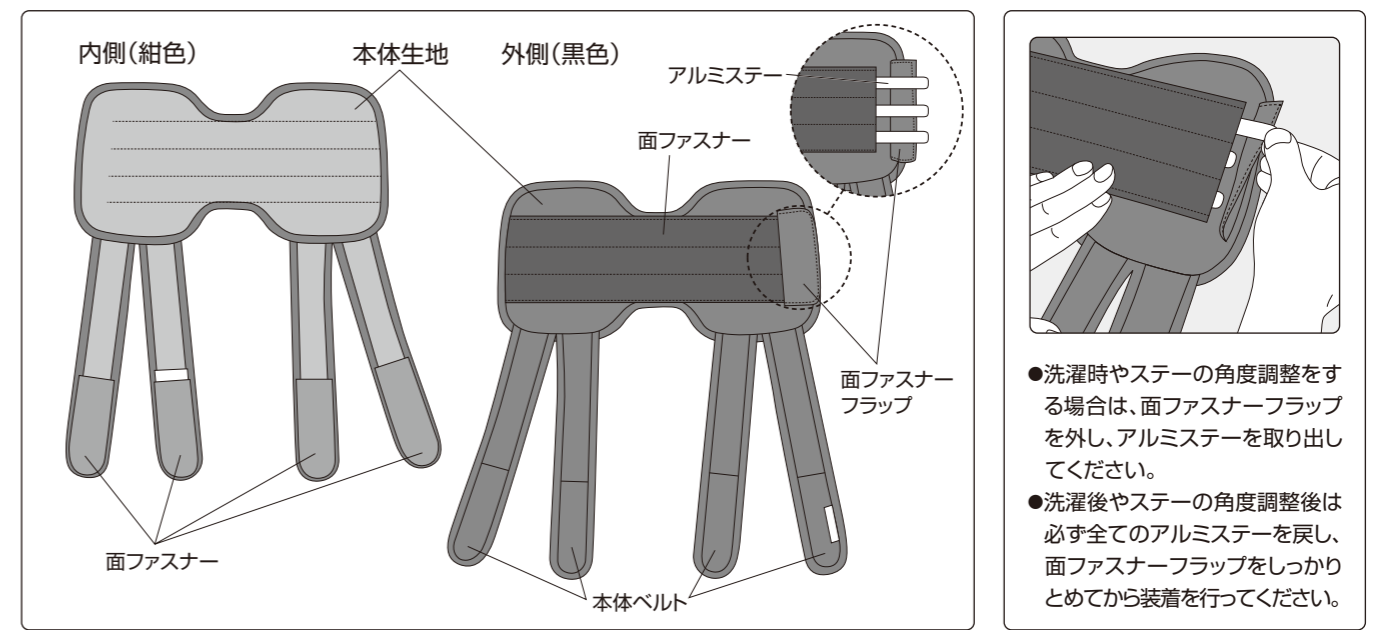
警告 人身事故につながるおそれのある注意事項

- 商品の特性を十分理解したうえで使用してください。また、使用目的以外の用途では使用しないでください。
- 本品を使用する前に、必ず点検を行ってください。特に水濡れやゴムの付着により面ファスナーの接着力が低下していることがあります。
- 本品に異常がある場合は使用せずに、お取り替えください。
- 装着部にチューブ・ラインがある場合は、チューブ・ラインの圧迫や閉塞が起こらないよう十分に確認を行ってから装着してください。また、チューブ・ラインへの障害の可能性が考えられる場合には使用しないでください。
- 突発的な行動などによってゆるみが発生することがありますので、適切な装着状態であることを適宜確認してください。
- 本品の使用により、装着部位に過度な圧迫・摩擦を与える場合があります。皮膚障害、神経障害、血行障害が起こるおそれがあります。痛み、痺れ、知覚異常などについて定期的な確認を行い、異常が見られた場合は本品の使用を中止し、医師の診断を受け、適切な処置を行ってください。
- 装着部位に浮腫や創部、皮膚障害などがある場合は、局所管理を十分に行い、定期的に確認しながら慎重に使用してください。症状を悪化させるおそれがあります。
- 使用手順に従いしっかりと装着を行ってください。その際、締めすぎによる血行障害が発生しないよう注意してください。
- 本品の使用により、患者の動揺・不適切な行動など異常が見られる場合は使用を中断し、適切な方法に変更してください。
- 使用期限(パッケージ記載)を過ぎてからの使用はおやめください。
- 面ファスナー、アルミステーおよび本体にキズ、ほつれ、変形、破損などの異常がないことを定期的に確認してください。本品が外れたり、怪我をするおそれがあります。
- 本品はアルミステーを使用しているため、MRI撮影を行う場合は施設の基準に従ってください。
- アルミステーの両端は若干鋭くなっているため、成形する場合には怪我をしないよう注意してください。
- 繰り返し成形するとアルミステーに亀裂などの金属疲労が生じ、アルミステーが折れることがありますので注意してください。
- アルミステーに脆弱な箇所を確認した場合、使用はおやめください。

注意 物損事故につながるおそれのある注意事項

- ハサミなどで加工・改造は行わないでください。
- 面ファスナー端部による布類への接触に注意してください。
- アルミステーが飛び出した場合、衣服などを傷つけるおそれがありますので、アルミステーが本体に入っている状態で本品をご使用ください。
- 本品は滅菌できません。(オートクレーブ滅菌、EOG滅菌、プラズマ滅菌など、いずれも対応不可)

各部の名称と構造

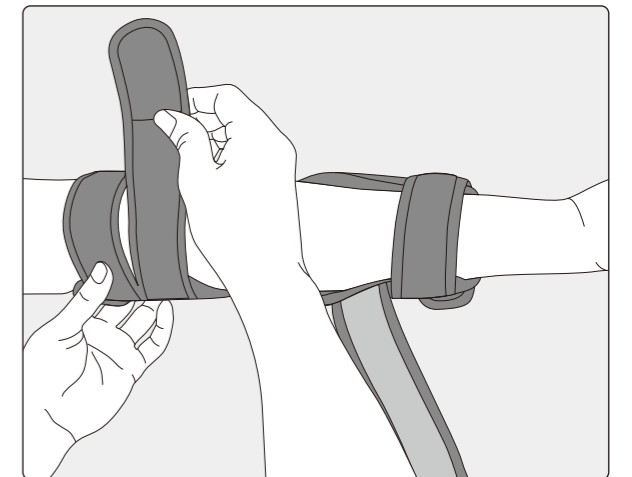
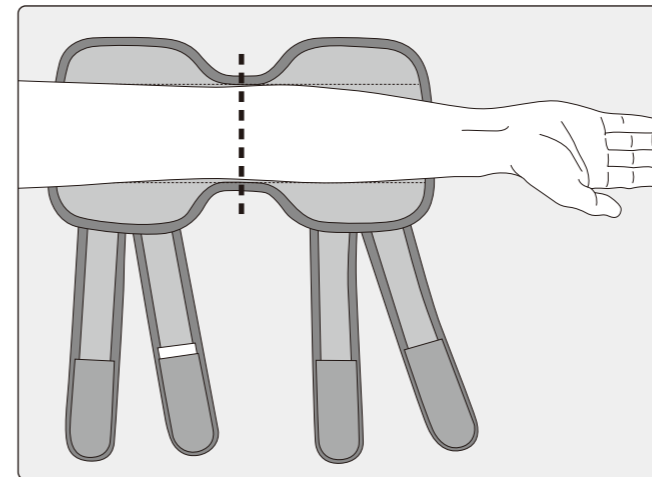


使用手順

※本品は左右兼用です。 ※イラストは「右手」への装着の図です。

1. 前腕周囲、上腕周囲をメジャーなどによって計測し、サイズの適応範囲であることを確認してください。適応範囲外の場合、本体ベルトが外れ、本体が腕から抜けたり、本体ベルトの締めつけによって腕を過圧迫する可能性があります。
2. 本品を点検し、面ファスナーの接着力や各部のキズ・ほつれなど、異常がないことを確認してからご使用ください。
3. 装着部位をよく観察し、必要があれば局所管理を十分に行ってから、装着してください。
4. 本体の角度調整をする場合はアルミステーを取り出し、成形してから本体に戻します。使用前にアルミステーに亀裂などの金属疲労がないことを必ず確認してください。

- ① 本体生地の内側(紺色)を肌側にし、ベルト部分が腕の外側にくるように掌を上にして腕のをせます。この際、肘関節が本体生地中央のくびれ部分(下図の点線部)にくるようにしてください。
- ② 面ファスナーをとめます。面ファスナーをとめる際、本体ベルトの締めつけすぎによる血行障害が起こらないよう調整してください。



- ③ 装着完了です。定期的に固定部分のゆるみや面ファスナーの浮きがないことを確認してください。

